

UART が恋しい

SUZAKU-S のスタータキットを使って汎用 IO でシリアルな液晶ユニットを叩く。
とりあえず、LED を叩くためのキャラクタデバイスがあったので、
そこ経由で叩いてみたところ、1bit 送るのに 60ms ほどの時間が ...
ソースを見てみると文字列で ON/OFF のコマンドを取得して、
それを strtoul で数値に変換して、というまどろっこしいコードに。
そりゃ遅いわな ...
しかたないので、結局簡単なデバドラ書くことに。
しかし、精確さに欠けるのか、なかなか怪しい挙動。
ちゃんとタイマ使うか ...
いや、もう諦めて UART 使いたいよう。